

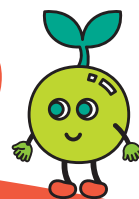
No.113

Summer 2025



JA東京あおば HP

2025年  
夏号



【特集】

第28回通常総代会開催

第10次中期経営計画（農業振興計画含む）について

ブルーベリー摘み取り園マップ

〈大人気〉

きじまりゅうた

あおばの台所



# 第28回 通常総代会開催



6月24日(火)午前10時から、光が丘IMA・IMAホールで、第28回通常総代会を開催しました。

相原和彦副組合長が開会を宣言した後、久保秀一組合長があいさつしました。続いて、議長に選任された板橋地区東新町支部の小野澤博氏があいさつし、議案の審議に移りました。

担当役員より、各提出議案について説明が行われ、議案は令和6年度事業報告、第10次中期経営計画(農業振興計画含む) | 令和7年度 | 令和9年度 | 令和7年度事業計画など多岐に及びましたが、慎重な審議の結果、すべての議案が可決されました。

最後に、鈴木裕専務の閉会のあいさつをもって、第28回通常総代会は終了しました。



JA東京あおばのご案内は映像でもご覧いただけます



JA東京あおばHPに令和6年度の事業報告をまとめた「2025 JA東京あおばレポート」を公開しております。また、事業活動や経営概況の映像を作成し、YouTubeで公開しております。ぜひご覧ください。

※WEBへの接続の際に生じる通信料は、ご覧になられる方のご負担となります。あらかじめご了承ください。

<https://www.ja-tokyoaoba.or.jp/movie/>



## 新役員紹介

ごあいさつ



組合員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素よりJA各事業に対する格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、制定から25年で初となる「食料・農業・農村基本法」が改正され、国民一人ひとりの「食料安全保障」の強化を基軸として、人口減少下での農業生産性や付加価値の向上、環境負荷低減など具体的な施策が新設され、地域社会における農業との共存について大きな方向性が示されました。

令和7年度は、第10次中期経営計画(農業振興計画含む) | 令和7年度 | 令和9年度 | の初年度となります。策定には、JA役職員、地域振興委員

ならびに各組織協議会代表者の皆さまのご意見をいただきながら、協議・検討を重ねてまいりました。当JAの社会的存在意義を定義し、「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かなくらしと活力ある地域社会を実現する」に向けて、第1の柱「農業振興計画」・第2の柱「組合員のくらしサポート」・第3の柱「経営基盤強化」・第4の柱「地域貢献活動」の4つの戦略を柱に策定しています。

新体制のもと、総合事業の強みを活かした各部署・支店・アグリセンター・直売所との連携強化を図りながら、組合員にとって「身近な存在」となるよう、役職員一丸となつて取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

令和7年6月  
東京あおば農業協同組合  
代表理事組合長

久保 秀一

## 理事

代表理事組合長 久保 秀一 (板橋地区)	代表理事副組合長 相原 和彦 (練馬地区)	代表理事専務 高橋 隆 (リスク管理室・審査部担当)	常務理事 植松 孝次 (総合企画本部担当)	常務理事 鈴木 正明 (信用・共済事業本部担当)	常務理事 古川 栄 (地域振興事業本部担当)
板橋地区 木下 正 木村 博之 小原 孝之 小山 貴代	練馬地区 内田 博樹 加藤 朝子 神田 靖仁 吉田 茂雄	大泉地区 五十嵐 初江 内堀 雅巳 加藤 晴久 木村 隆昭 田中 聖晃	石神井地区 大山 暁司 尾崎 賀一 富岡 誠一 豊田 八壽雄 本橋 勇		

## 監事

代表監事 田中 好雄 (大泉地区)	常勤監事 小泉 安昭	板橋地区 浅井 由久	練馬地区 五十嵐 透	石神井地区 井口 一宏	員外監事 戸部 秀明
鈴木 裕 (前代表理事専務)	新堀 桂三 (前常務理事)	石手 啓夫 (前理事)	山口 卓 (前理事)	吉野 美智代 (前理事)	小川 和徳 (前理事)
高橋 八重子 (前理事)	宮本 正裕 (前理事)	山口 幸治 (前理事)	吉田 和生 (前理事)	関口 繁夫 (前代表監事)	内田 忠男 (前監事)
				宇多川 俊明 (前監事)	

## 東京協同サービス株式会社

6月24日(火)、当JAの子会社である東京協同サービス株式会社の第38期株主総会で役員改選を行い、次のとおり決定いたしました。今後ともJA東京あおば共々よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長  
鈴木 裕



## 第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－

JA東京あおばの「めざす姿2030」に向けて、第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－の初年度として、体系図にある4つの柱（戦略）に基づき、13項目の重点施策に取り組みます。

### JA東京あおばの「めざす姿2030」

#### ① 都市農業を守る

組合員と共に都市農業を振興し、農業・農地を次世代につなげ都市農業の多様な機能を発揮している姿

#### ② 組合員のくらしをサポートする

組合員の身近な存在として、相続をはじめとした多様なニーズ・相談にこたえ、組合員のくらしをサポートしている姿

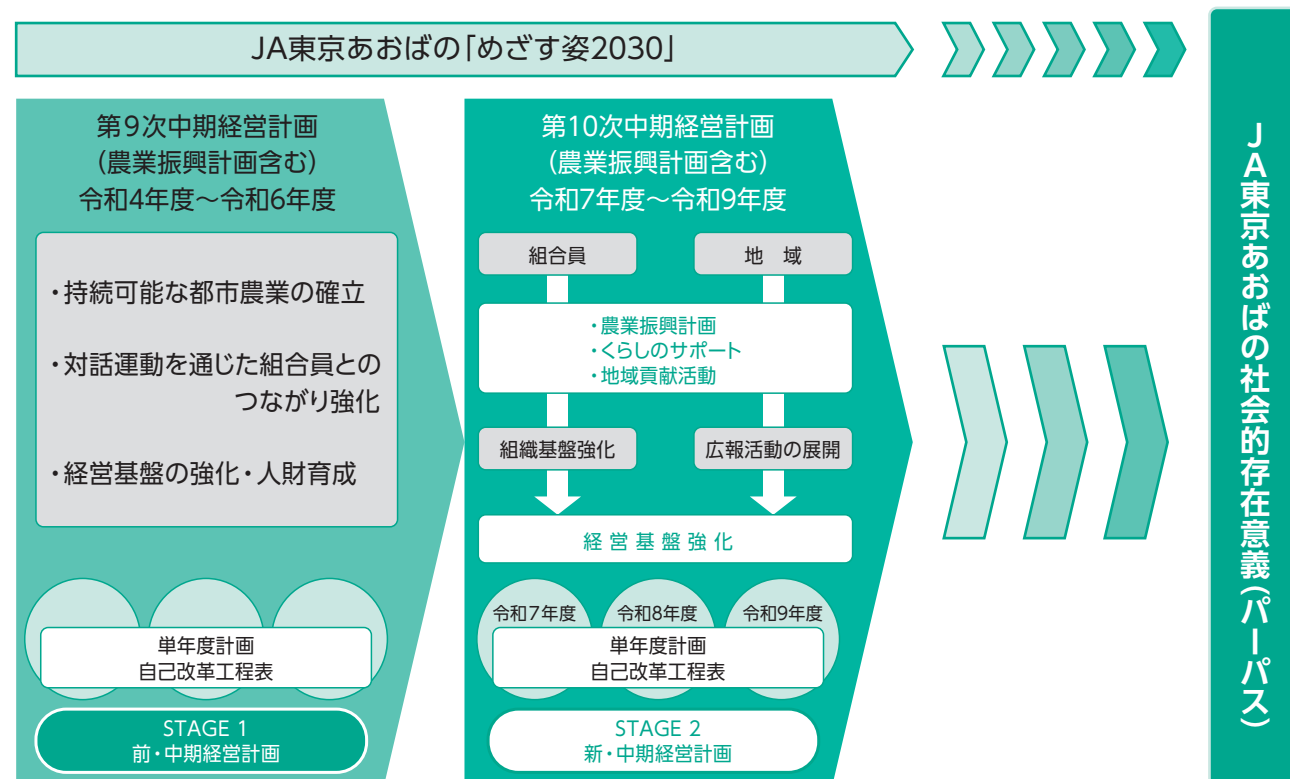
#### ③ 持続可能な経営基盤の確立

経営基盤の拡大、収益力の強化、業務の効率化を図りさらなるコンプライアンス・内部統制の強化をすすめ、経営基盤が安定している姿

#### ④ 食と農を通じた活動で地域に貢献する

食と農を基軸とした協同活動を実践し、都市農業のファンが増えることで、地域の活性化に貢献している姿

## 第10次中期経営計画（農業振興計画含む）の位置付け



## 第28回 通常総代会報告・決議事項（概要）

### 報告事項

- (1) 第28期貸借対照表、損益計算書及び注記表の報告について
- (2) 第9次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和4年度～令和6年度－「未来へつなぐ協同の輪」の取り組み報告について
- (3) 「JAバンク基本方針」の変更について



### 決議事項

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び第28期剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 第10次中期経営計画（農業振興計画含む）－令和7年度～令和9年度－について
- 第3号議案 令和7年度事業計画設定について
- 第4号議案 定款の一部変更について
- 第5号議案 令和7年度理事及び監事の報酬等の額の決定について
- 第6号議案 役員退職慰労金の支給について
- 第7号議案 役員選任について

### 損益の状況について

事業総利益	47億2,182万円
事業管理費	44億9,765万円
事業利益	2億2,416万円
税引前当期利益	5億8,347万円
当期剰余金	5億2,924万円

### 事業報告について

貯金残高	4,869億3,367万円
貸出金残高	1,658億6,000万円
長期共済保有高	7,441億2,373万円
購買品取扱高	3億359万円
販売品取扱高	5億7,647万円
宅地等供給事業取扱高	79億6,627万円

### 組合員の状況について

正組合員	2,659人 (うち女性812人)	准組合員	24,415人
------	----------------------	------	---------



JA東京あおばの自己改革工程表

重点施策		成果指標・計画値		
農業振興計画		令和7年度	令和8年度	令和9年度
都市農地の保全支援		計画	計画	計画
生産緑地所有者への全戸訪問	全戸訪問	全戸	全戸	全戸
農業所得増大に向けた取り組み強化		計画	計画	計画
直売所売上高	令和9年度末：4億6,000万円	4億3,847万円	4億5,000万円	4億6,000万円
直売所の来店者数	3か年合計：100万人	30万人	35万人	35万人

組合員のくらしサポート		令和7年度	令和8年度	令和9年度
組合員とのつながり深耕		計画	計画	計画
支部員、正組合員定期的訪問	令和9年度末：面談率90%	80%	85%	90%
総合事業の強みを発揮した相続サポート		計画	計画	計画
農地保全型相続対策プランの提案	3か年合計：提案件数50件	10件	15件	25件
提案したプランの実行支援	3か年合計：実行支援25件	4件	10件	11件
遺言信託契約	3か年合計：契約件数30件	10件	10件	10件

経営基盤強化		令和7年度	令和8年度	令和9年度
組織基盤の活性化		計画	計画	計画
新規組合員加入推進	3か年合計：1,500人	500人	500人	500人
安定的な財務基盤の構築		計画	計画	計画
貯金残高の伸長	令和9年度末：貯金残高4,910億円	4,880億円	4,895億円	4,910億円
融資残高の伸長	令和9年度末：貸出金残高1,780億円	1,700億円	1,740億円	1,780億円
長期共済保有高の維持	令和9年度末：長期共済保有高7,450億円	7,450億円	7,450億円	7,450億円
人財確保・育成の強化		計画	計画	計画
多様な採用活動の実施による人財確保	令和9年度末：職員数430人	425人	427人	430人
エンゲージメントスコアの向上	令和9年度：70ポイント以上	69ポイント	70ポイント	70ポイント以上

地域貢献活動		令和7年度	令和8年度	令和9年度
協同活動の実践		計画	計画	計画
地域イベントへの参加	3か年合計：30回	10回	10回	10回
広報活動の展開		計画	計画	計画
SNSの情報発信	令和9年度末：SNSフォロワー数3,000人	2,200人	2,600人	3,000人
支店だよりの発行	全支店毎年発行	全支店	全支店	全支店

対話・意思反映		令和7年度	令和8年度	令和9年度
項目		計画	計画	計画
支部の活性化(支部活動への支援・参加)		全支店	全支店	全支店
広報誌・ホームページを活用した准組合員アンケート(回数・意見提出人数)		1回、500人	1回、500人	1回、500人

第10次中期経営計画(農業振興計画含む)ー令和7年度～令和9年度ー体系図







番号	農園	お問い合わせ( )内対応時間	開園時期	開園時間	予約
1	浅見農園 ● 桜台3-7-12	080-4609-8471 (10:00~17:00)	7月~8月	土 9:00~10:30	—
2	高松四丁目宮本園 ● 高松4-21	090-8037-4389 (9:00~17:00)	7月上旬~8月中旬	水・土 10:00~11:30 (水曜日は不定休のため要予約)	—
3	おざわ農園 ● 高松5-1	03-3996-8701 (9:00~19:00)	7月中旬~8月下旬	土・日 8:30~11:30 (時間制限1時間)	—
4	みやもとファーム ● 高松1-39-5	080-8436-3555 (火・水以外10:00~16:00)	6月29日(日)~8月3日(日)	金・土・日 10:00~11:30/13:30~15:30	—
5	村泉農園(村田農園) ● 大泉町1-47	090-2747-1355 (9:00~18:00) 当日会場受付(電話予約可)	7月中旬~8月下旬	水・日 10:00~12:00	—
6	五十嵐ブルーベリー園 ● 土支田1-37	03-3924-8428	7月20日(日)~9月中旬 (なくなり次第終了)	木・日 9:30~12:00 (不定休あり)	—
7	やまはち農園 ● 土支田4-45-10	03-3924-0254 (9:00~17:00)	7月19日(土)~8月中旬	土 9:00~12:00 (時間制限1時間)	—
8	芹沢農園 ● 大泉町2-12-4	070-5580-4869	7月上旬~8月末	毎日 8:30~11:00/15:00~17:00	要
9	ベリーファーム・ ハイデルペーレ ● 土支田2-34-17	090-8509-7444 (9:00~15:00)	7月上旬~8月中旬	水・土 8:30~11:30 (45分4部制)	要
10	さかい農園 ● 東大泉2-15	090-8700-8619 (10:00~17:00)	7月中旬~8月下旬	水・土・日 9:00~11:00	要
11	山下農園 ● 石神井町6-32-16	070-8430-4508 (9:00~17:00)	7月中旬~8月下旬	水・土・日 8:30~10:00	要
12	ベリーズ工房 小さな果樹園 ● 大泉学園町2-31-8	090-1690-0313 (12:00~19:00) 当日会場受付可	7月中旬~8月下旬	水 15:00~17:30 日 9:30~11:00/15:00~17:30	要
13	A・加藤農園 ● 大泉学園町1-19-3	080-2006-1848 (9:00~18:00)	7月12日(土)~9月中旬	月・木~土 9:30~11:30/14:30~16:30 日 9:30~11:30	要
14	ファーム大泉学園 ● 大泉学園町3-17-72	090-6115-9168 (8:00~19:00)	7月上旬~8月下旬	水~日 10:00~12:00/15:00~17:00	要
15	ベリーワールド・かとう (加藤果樹園) ● 大泉学園町5-21 ベリーワールドかとう2園 ● 大泉学園町5-20	090-5212-6504 (9:00~17:00)	7月初旬~8月下旬	1園 土・日 9:00~11:00/15:30~17:00 2園 火・水 9:00~11:00/15:30~17:00	—
16	内堀農園 ● 内堀農園(1) ● 西大泉4-21 内堀農園(2) ● 西大泉4-19	090-9320-8303	7月中旬~9月中旬	水・日 10:00~12:00	要
17	高橋ブルーベリーガーデン ● 西大泉2-12-8	090-1124-6819	6月中旬~8月下旬	月・水・金 9:30~11:30/15:00~17:00 日 9:30~11:30	要
18	永井農園ブルーベリーの里 ● 南大泉6-20	090-1544-6325 (9:00~12:00)	6月下旬~8月中旬	水・土・日 9:00~11:30/16:00~17:00	要
19	小美濃園 ● 南大泉5-39-7	090-5208-0506	6月下旬~8月中旬	水・土・日 9:00~11:00/15:00~17:00	—
20	高橋ベリーガーデン ● ベリーガーデン(1) ● 南大泉2-33 ベリーガーデン(2) ● 南大泉3-25	080-4385-3715 (12:00~15:00)	7月上旬~8月中旬 6月下旬~8月中旬	月・土・日 8:30~11:00/15:30~17:30 (時間制限1時間)	—
21	南大泉加藤農園 ● 南大泉3-15-3	080-6508-6928	6月下旬~8月中旬	水・土・日 9:00~11:30	—
22	加藤ファミリー農園 ● 東大泉6-34-31	03-3923-7749 (平日 9:00~16:00)	7月上旬~8月上旬	水・土 9:00~11:00	要
23	関口ブルーベリー農園 ● 東大泉6-13-19	090-6953-6999/03-3924-2406 (20時以降)	7月中旬~9月中旬	水・土・日 9:30~11:30/15:30~17:30	—
24	井口農園 ● 南大泉1-6-19	090-8809-4895 (12:00~17:00)	7月上旬~8月上旬	土・日 15:00~17:30	—
25	ブルーベリーフィールズ 本橋農園 ● 石神井台4-14	090-9367-2948 (10:00~17:00)	7月中旬~8月下旬	火・土 14:30~17:30 (時間制限1時間)	要
26	さくら菜果園 ● 関町北5-2-26	070-4201-4320 (当日11:00~17:00)	7月16日(休)~8月9日(土)	水・土 15:30~17:30	団体の 場合要
27	はまなか農園 ● 関町北3-20-5	090-4524-2310 (9:00~17:00)	7月中旬~9月上旬	水・土・日 9:00~11:30	要

各農園の開園情報は、JA東京あおばホームページをご覧ください。  
※果実がなくなり次第の閉園となりますのでご承知おきください。



2005年から練馬区と協力し、整備をはじめたブルーベリー農園。2007年当初は8園でしたが、その数は年々増え、今年は27農園となっています。練馬区内の土壌は、酸性を好むブルーベリーの生育に適した環境で、栽培面積23区内最大級。ブルーベリーの木は背が低く、通路は歩きやすく整備されていますので、どなたでも楽しんでいただけます。ブルーベリー摘み取り体験にぜひお越しください。  
(開園情報は事前にご確認ください)



## ブルーベリー スタンプラリー

### 応募方法

- 各園で配布しているスタンプラリー台紙に、別々の園2回分、または同じ園3回分のスタンプが集まったら、各園に設置されているボックスに投函してください。
  - 応募期間：7月~9月末(ブルーベリーの生育状況等により時期が変わる場合がございますので、ご了承ください)
  - 商品：JA東京あおばの直売所で使用できる購買品引換券(1000円分)を抽選で50名様にプレゼントいたします。
  - 当選発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。
- ※スタンプラリーのルールについては、台紙をご覧ください。

### 料金のご案内(全園統一)

- ・摘み取り方式：100g 300円
- ・パック詰め販売がある場合、各園ごとに料金設定がされています
- ・食べ放題ではございません

## 練馬産ブルーベリー 区役所マルシェ (ブルーベリー)開催

日程 7月29日(火) 時間 10時~14時

場所 練馬区役所1階アトリウム  
住所：練馬区豊玉北6-12-1

イベント内容 練馬区産ブルーベリーの販売  
ブルーベリーを使用した加工品  
(お菓子・ジャムなど)の販売

問い合わせ先：地域振興部 農業振興課 03-5910-3066





01 NEWS

JA全青協会長  
酒井雅博さん(大泉地区)退任

5月15日(木)全国農協青年組織協議会(以下、JA全青協)第72回通常総会が開かれ、令和6年度より第71代JA全青協会長を務めた大泉地区酒井雅博さんが退任されました。同会は、全国46都道府県の約5万人の青年組織を会員とし、昨年度は、設立70周年を迎えました。

退任に伴い、6月13日(金)にホテルメトロポリタンにてJA全青協会長退任慰労会が開かれました。当日は、現JA全青協北川敏匡会長をはじめとした役員、JA全青協会長を務めた大泉地区白石好孝さんやJA東京青壮年組織協議会委員長を務めた山口卓さん、各地区の青壮年部員や役職員が大勢集まり、酒井さんを労いました。

第71代JA全青協酒井会長退任慰労会  
及び  
全国看板コンクール祝賀会

02 NEWS

板橋地区女性部  
手作り田舎まんじゅうを子どもたちに

4月9日(水)板橋地区女性部は、赤塚支店調理室で田舎まんじゅうを100個作り、区内の子どもの食堂へ寄付しました。この田舎まんじゅうは板橋農業まつりやJA東京あおば農業祭で毎年行列ができる人気商品で、今回は同部員12人で手作りしました。

子ども食堂の秋元すがよ代表は「美味しい子どもたちに評判で、毎年楽しみにしています。ぜひまた来年もお願いしたい」と話しました。

同部本橋玲子部長は「できたての手作りまんじゅうを喜んでくれて嬉しい。地域の子どもたちにできることを今後も探していきたい」と話しました。



03 NEWS

## 継続した講習で栽培技術向上めざす

5月9日(金)練馬地区果樹園芸部会は、同部員の畑を会場に柿の※摘蕾講習会を開き、部員ら8人が参加しました。今年2月にも同会場で剪定講習会を開いており、今回は剪定した樹木の樹形や蕾の付き具合なども確認しました。

講師は前回に引き続き、大泉地区の生産者で東京都指導農業者の資格を持つ

莊埜晃さんと、区部農業改良普及センター城北分室の職員が務めました。莊埜さんは「摘蕾を早い時期に行うことは、大きな実を育てるだけでなく、作業の効率化・省力化につながる」などの説明をしました。説明後には実際に参加者全員で摘蕾の作業も行いました。

同部宮本正裕部会長は「省力化を図りながらも品質の良い果樹栽培に努めていきたい」と話しました。

※花や果実の生育をよくするために、余分なつぼみを間引いて摘み取ることを



04 NEWS

春の訪れ告げる  
植木市にぎわう

4月18日(金)から20日(日)の3日間、板橋地区園芸部会は板橋区主催で「春の植木市」を開きました。イベントは40年以上続く区の恒例行事。会場の高島平噴水緑地広場には、春を彩る植木や草花、野菜苗などが並び、訪れた多くの人が楽しみながら買い求めました。

植木を購入した来場者からは「毎年楽しみにしていて、プロの生産者からアドバイスをもらいしっかりと育てたい」と笑顔で話しました。

販売に参加した部会員は「3日間多くの来場者で賑わいました。近年、暑さや資材高騰の影響もあり、植木や花の生育も大変ですが、来場者の笑顔を見ると頑張つて良かった」と話しました。



05 NEWS

## 板橋地区女性部 防災講習会実施

6月9日(月)板橋地区女性部は、赤塚支店にて防災講習会を行いました。板橋区在住の方にも参加を募り45人が参加しました。講師は、区のセミナー講師派遣を利用し、(公財)市民防災研究室の担当者が務めました。

第1部は「区の防災対策と自分たちの備えるべきこと」をテーマに講義を受け、第2部では、「深夜に自宅で震災に遭遇したこと」を仮定したグループディスカッション

を行いました。区から借りたVRなどの機器を使い「火災煙体験」と「避難所体験」を参加者全員が体験しました。

学校が休みで参加した小学生は「学校では何度も避難訓練しているがVRを使った体験は初めてでした。操作は簡単でした」と笑顔で話してくれました。

同部本橋玲子部長は「長年、消防として震災に携わってきた講師の話を聞き、より一層備えの大切さを感じました」と話しました。



06 NEWS

## 雑司が谷ナス 児童に出前授業

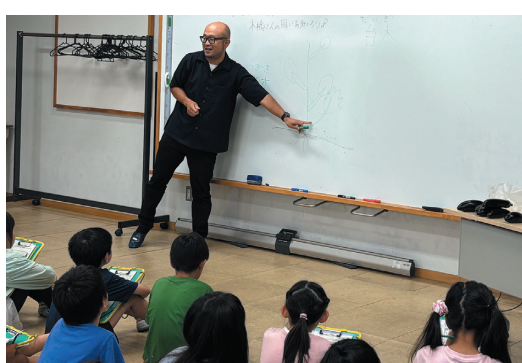
江戸東京野菜の雑司が谷ナスを栽培する石神井地区の本橋朋和さんは6月13日

(金)、豊島区立目白小学校の4年生に雑司が谷ナスについて出前授業を行いました。児童らは、総合学習の時間を利用して雑司が谷ナスの栽培に取り組んでいます。

授業では雑司が谷ナスの特徴や病害虫防除、普及状況について説明しました。実際に雑司が谷ナスと比較用の千

両ナスを触ってもらいながら違いを感じてもらいました。

本橋さんは「子どもたちの質問から伝統野菜の普及や都市農業の付加価値のヒントに気づくこともある。栽培しながら農業の楽しさや難しさを知って広めてもらえると嬉しい」と話しました。







4月18日(金)練馬区立高松みらいのはたけで、練馬幼稚園の園児が菜の花の摘み取り体験を行いました。当日は、4歳から5歳の園児、先生合わせて約180人が参加しました。

園児らは、クラスごとに菜の花の前で写真撮影後、小さな手いっぱいに菜の花を摘み取りました。その他、トラクターに乗ったり、耕されたやわらかな土の上で足踏みをしたりして楽しみました。園児からは、「菜の花は食べられるのか」など

09 NEWS

## 幼稚園児 菜の花摘み取りに

質問もあり、子ども達のにぎやかな声が園内にあふれていました。

今回の体験は、同園担当長岡宏和職員の提案がきっかけ。咲いた花を片付ける前に、地域の子どもたちの体験に活かせないかと考え、幼稚園に相談したことで始まりました。

同園担当矢作洋樹係長は「園児たちに楽しんでもらえて良かったです。子どもの頃から畑に触れることで、農業を身近に感じてもらいたい。イベント以外でも親子で気軽に来てもらえたら嬉しい」と話しました。

## 令和7年度 JAバンク東京推進大会



## 令和6年度 LA・スマイルサポーター優績者表彰式



関口 貴明 (板橋支店)	豊田 八束 (赤塚支店)	優績融資担当者	渡邊 万葉 (石神井支店)	市川 未悠 (大泉支店)	川戸 さき江 (平和台支店)	優績窓口担当者	菅原 雄也 (平和台支店)	松岡 賢 (赤塚支店)	守屋 駿 (板橋支店)	三宮 直人 (大泉支店)	高石 良太 (大泉支店)	優績渉外担当者	大泉支店	農業融資獲得部門最優秀店舗
-----------------	-----------------	---------	------------------	-----------------	-------------------	---------	------------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	---------	------	---------------

6月2日(月)に「令和7年度JAバンク東京推進大会」が、6月4日(水)には「令和6年度LA・スマイルサポーター優績者表彰式」が開かれました。日頃からの組合員・利用者の皆さまのご理解とご協力により、多くの職員が優績者に選ばれる栄誉に輝きました。役職員一同より感謝申し上げます。

10 NEWS

## 令和6年度 各種優績者表彰

有村 純哉 (中村橋支店)	建更新規部門	守屋 駿 (板橋支店)	本田 泰士 (田柄支店)	推進総合部門 ニューパートナー部門	守屋 駿 (板橋支店)	組合推薦部門	林 耕陽 (赤塚支店)	渡部 まどか (石神井支店)
------------------	--------	----------------	-----------------	----------------------	----------------	--------	----------------	-------------------

※令和7年6月1日現在の所属を記載



07 NEWS

## 石神井でサクラランボ栽培!

石神井地区齋藤政幸さんは、練馬区では珍しく、サクラランボ栽培に挑戦しています。今年で栽培を始めて4年が経ち、試行錯誤の末、見事に実がなりました。品種は高砂です。

齋藤さんは独学で栽培しており、同品種でも剪定の有無によって実の付き具合が明らかに違うことを実感しました。手間はかかるが丁寧に剪定を行い、防鳥ネットを被せて大切に育てています。

「このサクラランボは早生の品種で、ゴールデンウィークが最盛期。鑑賞用で生育を始めたが、来年は直売所への出荷も検討したい」と齋藤さんは意気込みます。

石神井地区アグリセンター小林隼人センター長は「甘さと酸味のバランスが良く美味しかった。ぜひ直売所に出荷してもらいたい。今後の挑戦もJAとしてバックアップしていきたい」と話しました。

齋藤さんはエダマメやブロッコリーなどを主に栽培する傍ら、次にミニメロンの栽培を考えています。



08 NEWS

## 農業体験農園でモニタリングシステムを活用

大泉地区の加藤義松さんは、練馬地区の五十嵐透さんは、スマート農業の一環として、農業体験農園のモニタリングシステムを活用しています。スマート農業とは一般的には、IoTやAIなどの先端技術を活用して、農業の生産性を向上させる取り組みです。

東京都農林総合研究センタースマート農業推進室では農業体験農園のモニタリングシステムを試験構築し、加藤さん、五十嵐さんが管理・運営している農業体験農園にモニタリングカメラや環境センサーを取り付けています。「農業体験農園の見える化」をめざすことで、農作物の盗難防止や熱中症予防、農園利用者同士での情報共有を効率化しています。昨今の猛暑は人だけではなく、農作物も大きく影響を受けています。センサーの記録を確認することで植え付けや収穫の時期を予測することが可能になり、適切な農作物の管理に役立てることができるようになります。

加藤義松さんは「システムを導入して1年が過ぎました。今後もIoT技術などをうまく活用し、農作物の生産に活かしていきたい」と話しました。

東京都農林総合研究センターの保坂主任研究員は「モニタリングシステムの活用により、利用者は園主から、より具体的な指導を受けられるようになり、農園の様子がリアルタイムで把握でき、利用者サービスの向上につなげていきたい」と話しました。



※家電や自動車などのモノをインターネットにつなぐ技術。





いもけんぴに最適な黄金千貫



種類豊富なブドウ



老若男女に親しまれる石田ご夫婦のいもけんぴ



手作りのいもけんぴの袋



ブドウと  
いもけんぴで  
地域に寄り添う

農の現場

都市農業の未来を探る

113

練馬区南田中・下石神井

石田 活衛さん

由美子さん

閑静な住宅街、ファミリー層も多く住むこの地域でブドウ栽培をしているのは、石田活衛さん（50）、由美子さん（47）ご夫婦。約15アールの土地に、ご夫婦と由美子さんのお父さんの3人で、シャインマスカットやナガノパープルなど20数品種のブドウを栽培している。都内ではほとんど栽培されていない品種もあり、時期になると毎週買いに来る人もいるほどの人気ぶりだ。庭先販売をメインにJA直売所とれたて村石神井でも販売している。

就農する以前、活衛さんは広告会社勤めだったが、その一方で、5年前からブドウ栽培の手伝いを始めた。「取引先から贈答用をお願いされることや近所の方に喜んでもらえていることを通して、ブドウ栽培を続けていくことの大切さと価値を肌で感じていた」と次第に就農を意識するようになった。そして一昨年、ご夫婦で共に営農の道へと進んだ。

営農技術は、お父さんと山梨県の講習会から学んでいる。「庭先販売では『とれたて』をモットーに、試食だけを出し、食べてみて美味しいと思ったものをその場で収穫し、販売している。20数品種を栽培しているのは、お客様の好みに対応するため」と限られた農地の中で、何度も

足を運んでもらい、喜んでもらえることを考え、工夫した結果が今のスタイルになった。

そんなご夫婦は新たに、サツマイモを使った「いもけんぴ」の販売を始めた。ブドウの販売期間が限られているため、閑散期にできる加工品に着目。住宅の跡地を作物が栽培できるように作り変えた。がれきや砂利の撤去など苦労もあつたが、昨年6月に「黄金千貫」といういもけんぴに適した品種を中心に栽培をスタート。その合間に、由美子さんがいもけんぴの販売店で働き、作り方のノウハウを身につけていった。

いもけんぴも「できたて」を大事に、朝作ったものを販売し、その都度補充している。今では地道な口コミで人気は広がり、なかには小学生がお小遣いで買いに来ることもある。柔らかなめの食感やサツマイモの味を活かした塩のみの味付けもあり、世代に合わせた工夫なども随所に、商品を入れて販売する袋は由美子さんのお母さんが直筆で、一つひとつ丁寧に手作りしている。商品一つひとつに、石田さんご家族のあたたかい気持ちがかもっている。

「今後、いもけんぴはキッチンカーでの販売を検討していて、イベントなどでより『できたて』を販売できたら嬉しい。自分の農地だけでは収穫量に限界があるので練馬区産のサツマイモを使えたら」と将来の展望についても話してくれた。

都市農業と向き合いながら、一步一步新たなことにも挑戦していく石田ご夫婦。その過程で地域とふれあい、寄り添う姿は、これから都市農業の力強い支えとなっていくに違いない。





## 今が旬のキュウリ

こんにちは！きじまりゅうたです。

JA東京あおばの直売所でも、もぎたてのキュウリがたくさん並んでいます。新鮮なキュウリは味噌をつけて生でかじるのが最高！産地が近いからこそその楽しみです。

でも、炒めても焼いても美味しいんです。シャキシャキ感を残しつつホックリした食感を引き出すには、肉巻きがおすすすめ。納豆そぼろはご飯も進む副菜です！ぜひ、お試しください！

### プロフィール

豊島区（JA東京あおば管内）に生まれ育った料理研究家。料理研究家の祖母・故村上昭子氏、母・杵島直美氏という家庭に育ち、幼い頃から料理に親しむ。母のアシスタントを務めた後、独立。伝統の味を継承しながらも、若い男性の感性を生かしたレシピが大人気。NHK「きじまりゅうたの小腹すいてませんか？」「あさいち」きょうの料理」など多数メディアに出演中。



RECIPE //

2

## キュウリ 納豆そぼろ

### 材料 2 人分

キュウリ ..... 1本  
塩 ..... 小さじ1/2  
納豆 ..... 2パック  
切り干し大根 ..... 15g  
白いりごま ..... 大さじ1/2

A しょう油 ..... 大さじ1  
砂糖 ..... 大さじ1/2  
酢 ..... 大さじ1/2  
輪切り唐辛子 ..... 1本分

### 作り方

- ①キュウリを5mm幅の細切りにして塩を振って15分ほど置いて水気を絞る。切り干し大根は水でサッと洗う。
- ②Aを混ぜてキュウリと切り干し大根を混ぜて10分ほど置き、納豆と白いりごまを混ぜる。

これまでご紹介したレシピを  
JA東京あおばのホームページ  
に掲載しています。▶▶▶



RECIPE //

1

## キュウリの肉巻き

### 材料 2 人分

キュウリ ..... 2本  
豚バラ肉薄切り ..... 8枚(150g)  
青じそ ..... 3枚  
塩 ..... 小さじ1/4  
サラダ油 ..... 大さじ1/2

A しょう油 ..... 大さじ1と1/2  
みりん ..... 大さじ1と1/2  
酢 ..... 大さじ1/2

### 作り方

- ①キュウリの両脇を落として放射状に四つ割りに切り、タネをそぎ取り、半分の長さに切る。
- ②キュウリのタネと青じそを粗みじん切りにする。
- ③キュウリ2片をまとめて豚肉に巻きつけて塩を振る。
- ④フライパンに油をひいて、綴じ目を下にして並べて火にかける。焼色がついたら向きを変えて全面に焼き色を付ける。
- ⑤豚肉に火が通ったら、取り出して器に盛る。
- ⑥空いたフライパンの脂を拭いて、キュウリのタネと青じそとAをいれて煮詰めてタレを作る。
- ⑦肉巻きにタレをかける。





# ブロッコリーを作ろう



7月はブロッコリーの種まき時期

令和8年から「指定野菜」に格上げが決まっているブロッコリーは近年発展した野菜と言えるでしょう。品種も極早生から晩生までいろいろ販売されています。春まきもできますが、秋冬野菜としては関東地方では7月20日前後が種まきの適期です。

中生品種はわき芽も取れてお得



私がよく栽培している品種は中生種の「しげもり」です。種まき後100日前後で収穫になる側花蕾兼用の中生種です。イオウ病、ネコブ病に圃場抵抗性があつて耐寒性もあり、夏まきも春まきもできる作りやすい品種です。「しげもり」は頂花蕾を収穫した後も側花蕾も出るのでそのまま春まで収穫できます。

種まきはポットに

畑にまいて育苗することもできますが、真夏の暑い時期と、害虫被害を考えるとポットまきがおすすです。12センチポットに20〜30粒、種をまいて5ミリほど覆土して鎮圧します。乾かないように毎日水やりをして発芽させます。日陰に置くと発芽後ひよろひよろと徒長するので日当たりの良いところにおきます。



12センチポットに種をまく。この後5ミリほど覆土して鎮圧する



本葉が出てきたら1本ずつ6センチポットに移植する

植え付け

本葉が4〜5枚になるころは、ポットの底の穴から白い根が見えるようになります。その時が植えどきです。植える場所は春から他の野菜を栽培していた畝にそのまま連続栽培するか、新たに畝を立てるか、のどちらでも良いでしょう。新規に畝立てをする場合は、1平方メートルあたり堆肥3kg、ボカシ肥料300g、草木灰か牡蠣殻石灰を100g入れて畝を立てます。マルチを張れば草は生えませんが、真夏の暑い時期には植えた苗が暑さでダメージを受けることもあるので必ずしもマルチが必要ではありません。

植え付け間隔は45センチぐらいにします。夏から秋は特に害虫が多いので必ず防虫ネットを被せ害虫の成虫に産卵させないようにします。



本葉4〜5枚まで成長したら畑に植える



植え付け後は必ず防虫網で覆い、害虫に産卵させない

途中の管理

マルチでない場合は、除草を兼ねて中耕し、株下に土寄せをします。マルチの場合、茎が寝てしまうことがありますが、何もせずそのまま育てれば良いでしょう。

収穫

11月から収穫できます。頂花蕾の直径が15センチ以上になり盛り上がってきたら茎に包丁を入れて収穫します。ブロッコリーは茎も美味しく食べられます。頂花蕾を収穫した後も側花蕾が次々と出るので春まで収穫できます。



①頂花蕾が大きく盛り上がったら収穫



②包丁で茎を切って収穫する



③収穫したブロッコリー「しげもり」



④頂花蕾の後は側花蕾が春まで取れる

収穫後もさらに

収穫後のブロッコリーは片付けずに畑から引っこ抜いて別の場所に植えておくと、4月にまた花が咲きます。そのままおくと種も取れます。一代交配種なので採種した種は特性が分離しますが、ブロッコリースプラウトであれば十分利用可能です。種が入ったさやが枯れ始めたら、さやを刈り取り、防虫網などに包んで雨が当たらない風通しの良いところで2週間ほど乾燥させ採種します。

※指定野菜：国が安定供給のため、消費量が多く特に重要と定めた野菜  
※側花蕾：わき芽にできるつぼみ  
※頂花蕾：株の中心や先端にできるつぼみ  
※中耕：作物を栽培中に、固くなった土を浅く耕す作業

プロフィール

1972年 東京農工大学農学科卒。  
2005年 協和種苗(株)退職。  
2011〜2022年 東京農業大学グリーンアカデミー講師。  
サラリーマン時代より貸し農園での野菜づくりを研究。  
2012年より日本農業新聞でおまかせ菜園フクダ流を連載中。貸し農園アグリス成城指導員。



ふくだ とし 福田 俊



収穫後の株を捨てずに抜いて植えておくとまた開花する



ミツバチなどが受粉し種が取れるブロッコリースプラウトが作れる





## 身近に発見！新鮮！庭先お買い物MAP

本企画は庭先直売所を紹介するコーナー。ぜひ身近に感じてお出かけください！



### 1 五十嵐農園 (五十嵐 善弘さん・初江さん)

住 所 大泉町3-25-4  
時間(目安) 10:00~なくなり次第終了  
販売品目 カブ、キャベツ、ジャガイモ、スイートコーン、トマト、ネギ、ニンジン、ブロッコリー、ホウレンソウなど



### 4 野菜のムラタ (村田 博文さん、和世さん、愛美さん)

住 所 大泉町1-49-1  
時間(目安) 10:00~なくなり次第終了  
販売品目 カリフラワー、キャベツ、キュウリ、ズッキーニ、ダイコン、トウモロコシ、トマト、ナス、エダマメ、ピーマン、ジャガイモ、タマネギ など



### 2 白石農園 (白石 好孝さん)

住 所 大泉町1-54  
時間(目安) 終日  
販売品目 アスパラガス、キュウリ、エダマメ、サツマイモ、スイートコーン、ナス、ネギ、レタスなど (収穫体験もやっています。)



### 3 村泉農園 (村田 千英子さん)

住 所 大泉町1-51-2  
時間(目安) 10:00~19:00  
販売品目 アスパラガス、エダマメ、キュウリ、スイートコーン、ダイコン、トマト、ナス、ネギ、リーフレタス、ブルーベリーなど



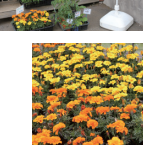
### 5 荘埜園 (荘埜 晃一さん)

住 所 大泉町1-50(柿園)  
時間(目安) イチジク(8月上旬) 10:00~なくなり次第終了 カキ(11月~) 12:00~なくなり次第終了  
販売品目 イチジク、カキ、ブタン、ミカン、レモンなど (夏~秋にかけて販売)



### 6 小川農園 (小川 収さん・美佐子さん)

住 所 大泉町1-43-30  
時間(目安) 11:00~なくなり次第終了  
販売品目 季節の切花・鉢花、インパチェンス、サンパサル、バジル、シクラメン(11月下旬~12月)、パンジー・ビオラ(11月)、野菜苗全般(4月~5月)など



## 配当金通知書にお買い物補助券を同封しております



昨年度1年間の組合利用に感謝を込めて、組合員のみなさまへ6月下旬に発送した令和6年度配当金通知書にお買い物補助券(500円分)を同封しております。

JA東京あおばの直売所・各地区アグリセンターでお買い物(現金払い)の際にご利用いただける補助券です。直売所等でのお買い物で都市農業を応援しましょう！

※利用方法等、詳細については同封のご案内をご確認ください。

### お問い合わせ

- ・補助券の利用について 地域振興部 03-5910-3066
- ・配当金通知書について 総務部 03-5372-1311



## JA東京あおばカレッジ開講

### 一次世代の組合員リーダーの育成

### 第2期生募集

組合員を対象に、JA東京あおばカレッジを実施することで、協同組合の基本理念を学び、JAへの理解を深めるとともに、視野を広げ、JA東京あおばの経営理念の実現に向け、将来のJAを担い、次世代のリーダーとなる組合員を育成することを目的としております。

入 学 資 格	満20歳以上の正組合員およびその家族 ※原則、全講座を受講可能な方
入 学 金 ・ 受 講 料	無料 ※必要に応じて、一部ご負担していただく場合がございます。
定 員	8~16人程度
期 間	令和7年10月から令和9年12月まで 講座は卒業式を含め計12回、卒業記念旅行1回を予定しております。
カリキュラムについて	募集チラシ、またはホームページをご覧ください。
応 募 期 間	令和7年5月1日~8月31日
お 問 い 合 わ せ	JA東京あおば 地域振興部・農業振興課 電話 03-5910-3066(平日 9時~17時)



# 読んで、アンケートに答えて すてきなプレゼントをもらおう!!

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

※クロスワードの解答は任意です。



## プレゼント応募締め切り 8月29日(金) 必着

### 読者プレゼント

- 1 各支店の窓口ポストに応募用紙投函(無料)
- 2 85円切手を貼って郵送
- 3 専用webフォームからも応募できます▶▶

### 応募要項

氏名・ふりがな・年齢・住所・電話番号・取引支店名・JAと本誌へのご意見や感想、地域の話、楽しいお話、俳句など、自由にお書き添えのうえご応募ください。なお、ペンネーム、匿名を可としますが、本名の明記を必ずお願いします。抽選で5名様にプレゼントいたします。

個人情報等の取り扱いについて

ご応募いただきました応募用紙等の個人情報・記載内容は、当JA広報活動の目的以外では使用いたしません。



## プレゼント

東京牛乳ラスク&  
東京牛乳ラングドシャロールを  
セットでプレゼント



※イメージ  
在庫状況により変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

5名様



## follow me

直売所の最新情報は  
Instagramでも発信中!!

とれたて村石神井  
(toretatemurasyakujii\_aoba)



ふれあいの里  
(fureainosato\_aoba)



JA東京あおば  
(jatokyoaoba)



板橋地区  
アグリセンター  
(itabashi\_agri\_aoba)



練馬地区  
アグリセンター  
(nerima\_agri\_aoba)



ファーマーズショップ  
にりん草  
(nirinsou\_aoba)



ファーマーズショップ  
こぐれ村  
(koguremura\_aoba)



### 編集後記

いつも「広報誌あおば」をご覧いただきありがとうございます。早いもので2025年も夏に差し掛かってまいりました。

年を追うごとに暑さが増していくような気がしますが、外で作業される方は特にこまめな水分補給、休憩を心がけていただき、室内にいるときもエアコンや扇風機で適温を保っていただければと思います。

さて、夏といえば何が思い浮かぶでしょうか?青い空や入道雲、セミの鳴き声…色々あるかと思いますが、やはりカラフルな夏野菜が頭に浮かびます。直売所に並び新鮮な農産物でしっかり栄養も補給し、夏に負けない体を作っていきたいですね。

(広報委員 池邊)

前号の答え

A B C D E  
イ ー ス タ ー



たくさんのご応募  
ありがとうございました。

当選者はプレゼントの発送をもって  
発表にかえさせていただきます。

### 読者のひろば

いつも窓口での  
親切な対応に  
感謝しております。

from  
M.Mさん

大泉支店

広報誌「あおば」を  
楽しみに読ませて  
もらっています!!

from  
K.Tさん

練馬春日町支店

きじまりゅうた  
あおばの台所を  
毎回楽しみにし、  
挑戦しております。

from  
C.Mさん

関町支店

冬すぎて  
春いっぱい我が庭は  
うれしそうね  
ハイパチリ

from  
笑さん

石神井支店



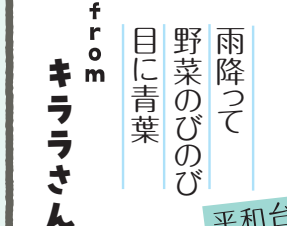
from  
Keykoさん

石神井支店



from  
runtanさん

田柄支店



from  
キララさん

平和台支店

年金感謝デーで  
もらった新鮮なニラが  
とてもうれしかったです。

from  
T.Wさん

中村橋支店



from  
洋子ばあばさん

平和台支店

夕やけに  
きれいに光る  
赤トンボ

from  
K.Tさん

板橋支店

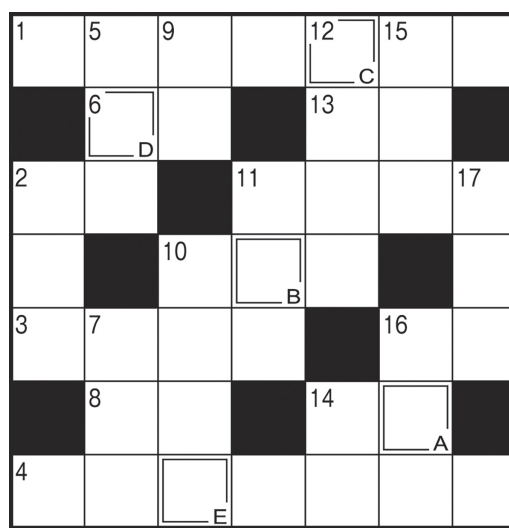
土塊に  
ミミズ見つけて  
種を蒔く

from  
T.Mさん

赤塚支店



二重マスの文字を A~E の順に  
並べてできる言葉は何でしょうか?



### ヨコのカギ

- 1 夏休みの朝に通ってスタンプをもらいます
- 2 早起きは三文の——
- 3 サーファーが乗ろうとするもの
- 4 アルコール分が含まれていない飲み物
- 5 疑問文では上げることが多い
- 6 葛まんじゅうの中に包み込まれているもの
- 7 デジタル時代になり——の文字を見る機会が減りました
- 8 騎手が乗っていません
- 9 観光、スクール、二階建てといえ
- 10 鳥の体に生えるもの
- 11 うな重と一緒に——吸いを注文した

### タテのカギ

出題●ニコリ

- 2 3人組のこと
- 5 閻魔大王がいるところ
- 7 ハワイ州の州都、ホノルルがある島
- 9 浴衣を着て——を締めた
- 10 ショッピングモールには多くの——が入っている
- 11 左右反対に映ります
- 12 メロンの生産量が日本一である県
- 14 糸を通して布を縫います
- 15 1とその数自体しか約数を持ちません
- 16 俵万智の第一歌集『サラダ——日』
- 17 阿寒湖で育つものが有名な藻類







## 青壮年部 活動紹介



### 石神井地区青壮年部が作るポップコーン!

石神井地区青壮年部はJA東京あおば農業祭でポップコーン販売を行っています。このポップコーンはすべて石神井産になります。ポップコーンはその名のとおりにコーン(トウモロコシ)であり、ポップコーン用の品種を3人の部員が栽培しています。通常のトウモロコシより背丈が大きく、2m近く伸びます。収穫は穂の皮がしなびて茶色くなり畑で熟してから収穫します。その後は穂の皮をむき、風通しの良いところで1か月ほど乾燥させます。乾燥が足りないと調理時にうまく実がはじけないので大事な作業になります。

穂から実をとる作業は部員が行い、2時間以上かけ50kg以上の実をとります。地味で指先が痛くなる作業ですが、仲間同士で雑談しながらやる姿は学生時代の文化祭の準備のような雰囲気があります。試作でいろんな味を試しながら食べるのも密かな楽しみです。袋詰めまでしたら、あとは当日を迎えるのみ。晴天とたくさんの来場者を待ちわびながら、頑張って準備をしています。今年も農業祭で販売予定です。

石神井地区青壮年部によるポップコーンの※6次産業化は若手部員が行っており、後継者世代の経営感覚を磨くよい機会にもなっています。青壮年部活動に興味のある方は、お近くの青壮年部員や事務局までお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先

JA東京あおば青壮年組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)  
電話:03-5910-3066(平日9時~17時)

※6次産業化:農業者が加工や販売まで手がけ、経営の多角化と付加価値向上を図る取り組み



## 女性部活動紹介

### 練馬地区

### 練馬地区女性部 目的別グループ活動と文化展

私たち練馬地区女性部は、絵手紙・消しゴムアート・手芸・フラワーアレンジメント・陶芸など、複数のグループに分かれた活動を行っています。部員は、好きなグループ活動に参加可能。先生役も部員自らが務め、楽しく活動を行っています。さらに、毎年秋には、日ごろの活動のお披露目の場として「練馬地区女性部文化展」を開催しています。昨年は40人を超える部員が出品し、会場を彩りました。今年は11月6日(木)・7日(金)練馬春日町支店2階会議室を予定しています。どなたでもご来場いただけますので、興味のある方はぜひお越しください!また、女性部活動に興味のある方は、お近くの女性部員や事務局までお気軽にお問い合わせください。



## 学ぼう。遊ぼう。 楽しもう。

### 新メンバー大募集!!

JA東京あおば女性部



問い合わせ先

JA東京あおば女性組織協議会事務局(地域振興部農業振興課)  
電話:03-5910-3066(平日9時~17時)